

1学期末の学校アンケートへの御協力ありがとうございました。いくつかの項目の中で目立ったものをピックアップして、子ども・保護者・教員の回答を並記しました。アンケート結果をもとに、今現在、改善に向けて取り組んでいるものもあります。また、来年度の教育計画にかかしていきたいと思えます。なお、教員の評価は質問事項に対して、学級の子どもの80%以上が該当した場合「肯定」とし、順に60%以上80%未満、40%以上60%未満、40%未満としています。

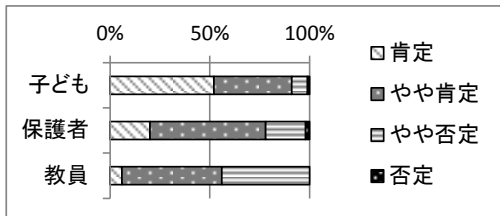
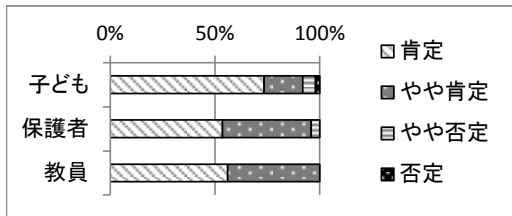
平成28年度1学期学校評価の表れ(子ども・保護者・教員) ※数字の単位は%

学校へ行くことを楽しみにしている

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	72	18	6	2
保護者	53	42	4	0
教員	56	44	0	0

困難に負けずに最後までがんばる

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	52	39	8	1
保護者	20	58	20	2
教員	6	50	44	0



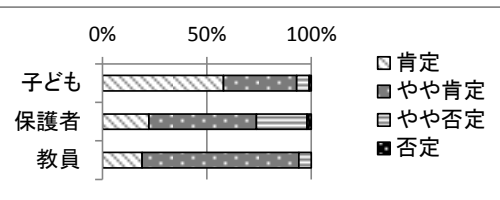
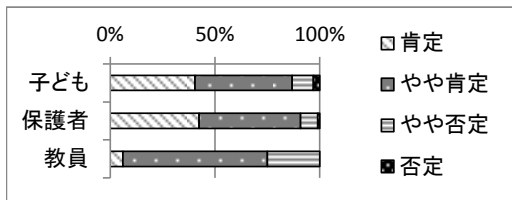
学校を楽しみにしていることについては、おおむねよい結果が出ています。今後も明日が待たれる学校づくりに取り組んでいきます。ただ、保護者や教員が見るより「楽しみ」を感じていない子がいます。教育相談や日頃の観察を通して、そのケアにあたりたいと思えます。
苦しさや困難にも負けずに最後まで取り組むことについて、3者の評価が分かれました。この項目は、子どもの活動の中でも難しいことと思われれます。しかし、子どもは活動に対して前向きに達成しようと取り組んでいることがわかります。ただ、丁寧さや効率性が今一歩という声も聞かれます。その点が改善のポイントかと思われれます。

授業で、伝わるように話す

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	40	46	10	3
保護者	42	48	8	1
教員	6	69	25	0

人の話をしっかり聞く

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	58	35	6	1
保護者	22	51	24	2
教員	19	75	6	0



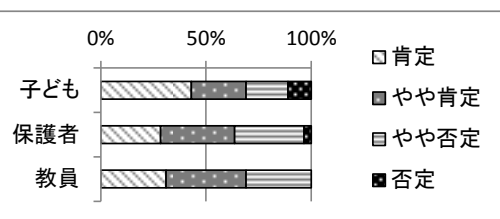
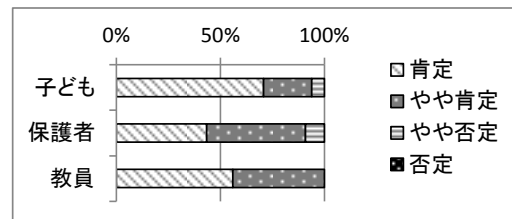
話すことは、「授業」と場を限定しています。子どもの中には「話す」ことを苦手と感じている子が多くいますが、授業では伝えようと努めていることがわかりました。教員の中では、積極性を求める声が少なくありません。聞くことについては、概ねいい評価がなされています。ただ、保護者が2者とは若干違った評価をされています。これは、態度的なことだけでなく、理解が十分ではないと評価してのことだと思われれます。その点も、学校では気にかけていきたいと思えます。昨年度の評価と比較すると、教員の評価が特に上がっています。「話す」ことへの肯定は60%が75%に、「聞く」ことへの肯定は47%が94%になっています。

家庭学習(決められた内容)

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	70	23	6	0
保護者	43	47	9	0
教員	56	44	0	0

読書への親しみ

	肯定	やや肯定	やや否定	否定
子ども	43	26	20	11
保護者	25	31	29	3
教員	31	38	31	0



家庭学習については、年度初めに各家庭に家庭学習のリーフレットを配付するなどして協力を仰ぎました。各学年に応じて量や内容を決めていきます。学年によって若干の内容の違いがありますが、学校として共通の内容の学習をするようにしています。教員の評価では、ほとんどの子どもが毎日忘れずに取り組んでいるというものがあります。また、家庭でよく見てもらっているという声も聞かれ、ありがたく思えます。今後も子どもへの励まし、見届けをよろしく願います。
読書につきましては、他の項目に比べると評価が低くなっています。しかし、以前に比べると3者の評価が伸びています。3者とも「肯定・やや肯定」が50%をこえることが継続されています。ただ、読む子とそうでない子の差が大きいことが懸念されています。今年は、必読書を低学年は10冊、中学年は5冊、高学年は3冊、読むことを目標としています。読書についても、家庭読書やNMD(ノーマディアデー)で御家庭の協力を得ることが多くありますが今後ともよろしく願います。